

## 特集 第9回 SRお客様交流会

2009年7月24日(金)  
in 大田区産業プラザPiO

『SRお客様交流会』今回で9回目の開催を迎えることができました(約83社120名様参加)。SR導入の効果について、4社様にご講演いただきました。

ご講演

1. SR導入効果  
無事故・エコドライブ・配送品質向上の取り組み  
株式会社 コープムービング 殿 P1-2
2. 「運送業で自社ブランド! SRは重要アイテムのひとつ」  
株式会社ハーツ 殿 P3
3. 優良運転者の特性を探る 一常時記録型  
ドライブレコーダによる30ヶ月の経過分析  
佐賀大学大学院 医学系研究科 殿 P3
4. データ・テック実験報告(その5)in交流会 P4

特集  
1

### SR導入効果 無事故・エコドライブ・配送品質向上の取り組み

## 株式会社 コープムービング

鳴尾浜事業部 低温物流センター マネージャー **岩島 絵摩** 様



会社概要



### 株式会社コープムービング

本社所在地: 西宮市鳴尾浜3丁目10番1号(コープこうべ鳴尾浜配送センター3F)  
TEL: 0798-20-9001 FAX: 0798-44-1117

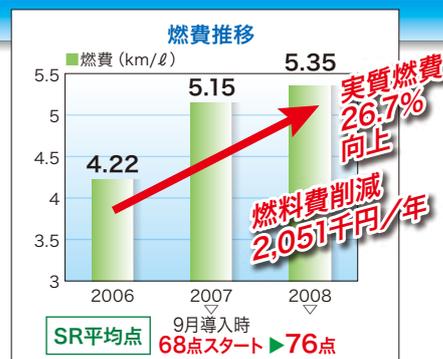
営業拠点: 西宮市(2拠点) 神戸市(2拠点) 加古川市(1拠点)  
設立: 1967年4月コープこうべ物流部門の専門会社として設立  
代表者: 代表取締役社長 橋本 隆一  
事業内容: 物流事業・店舗事業・無店舗事業・宅配事業・他事業  
従業員数: 2,480名  
車両台数: 285両(10t: 9両, 4t: 41両, 2t: 40両, 1.5t: 170両 他)  
SR導入: 2007年9月 SRPocket: 34台。2009年は引越業務車両に10台、無店舗事業車両に65台、カメラ付SRを導入



鳴尾浜  
低温物流センター

### 1 SR導入の効果

1. **ドライバーの意識改革に成功!**  
走行品質・業務意欲も向上!  
ドライバー全員の運転が驚くほどの安全運転に!  
スピード・ブレーキタイミング・右左折・車間距離・安全確認等
2. **事故削減** 2007年度 3件 ⇒ 2009年 0件!!  
(2008年8月より328日間無事故継続中) ※09年7月20日現在
3. **燃費向上!** (導入前の2006年と比較)  
2008年 燃料費削減 約2,051千円/年  
2008年 実質燃費 約26.7%向上!



### 2 SR導入の背景

「コープムービングなら安心だ」といっていただけることがブランドと思っています。ブランディング確立にむけても、配送業務の実態の把握やドライバーの意識改革、また生活密着型の業務面からも、社会における安全運行・エコ活動は不可欠です。

指導に生かせる目安や目標が得られ、エコドライブにもつながる安全運行ツールを検討していたところ、お取引先の国分株式会社様から情報をいただき、他のツールにはない、アクセル・ブレーキ・ハンドル操作の安全度がわかるSRを採用しました。

### 3 SR導入当時

#### SR導入時のドライバーの不満

1. 機械の数値なんか当てになるか!
2. そんな事、気にしたら仕事にならない!
3. 数値で評価されることが気に入らない!(怖い?)
4. どうせ最初だけで、すぐに適当(活動が)になるよ!
5. 無関心(どうでもいい)

#### コープこうべ店舗配送の特長

- 運転条件 エリア特性: 山道、坂道が多い
- 配送の特長
  - ① 住宅街に店舗があるため生活道路走行が多く、近隣への配慮が必要(納品時間・騒音など)
  - ② 店着設定時間、前後30分以内の配送(夜間配送はなし)
  - ③ 大半の店舗が、PGでの納品(ホームなし)



どうすれば、ドライバーが抵抗なくSRを受け入れられるか! 前向きな取り組みができるか!

## STEP 1 SR活動は『見える化活動』と定義付け

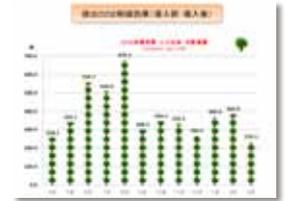
診断結果や社会的効果をもとに具体的な見える内容で掲示

1. 診断結果表 データ更新は毎日おこない、3日おきに張り替える  
(自分はもちろん、他者の数値結果が気になる)
2. 燃費推移状況 ドライバーが興味を持ちやすいデータで掲示

SR運転診断結果一覧表



CO<sub>2</sub>収集効果 人工杉 本数換算

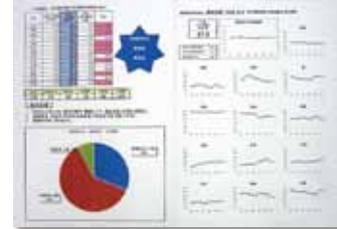


## STEP 2 『サークル的活動』で嫌悪感を生まないものに

- ① 結果が悪くても叱らない。よいときに必ず誉める
- ② 成果は必ず小まめに伝える
- ③ 必要以上の個人指導はしない

全体向上の中での個人レベルアップをはかることを目標に、ドライバーへは、積極的に具体的な数値で情報を公開

SR月間平均得点分布と得点推移



## STEP 3 モチベーション維持のために継続活動

点数を重視し、管理者の真剣さを伝えるSR活動を展開。何よりも管理者がSRに飽きていると思わせないように、SRを軸とした安全活動指導に徹底。

- ① 一度始めた活動は必ず継続する  
(資料の掲示、診断結果の上司確認印の押印等)
- ② 掲示物に変化をもたせる(グラフの種類、掲示方法、ドライバーの目にとまる工夫) 取り組みを継続

倦怠期  
↑  
効果が上がる

車両・月ごと燃費向上度



緑十字表



参考：“コープムービング様流”成果反映例

## STEP 4 業務活動へ転換

ドライバーに課されるのは、安全という予算、SR点数目標がドライバーの数値責任と明言。『やらされている』から『やらなければ、やるぞ!』という意識革命を図りました。

SR点数を個人評価として成果を毎月の給与に反映させています。  
(2009年上半期平均点は86点)

### 8項目で評価(各項目3段階評価)

①②と同じくらい「安全の基準」として④に重きを置いています

- |                         |          |
|-------------------------|----------|
| ① 仕事量                   | ⑤ 業務意欲   |
| ② 仕事の質                  | ⑥ 接客対応   |
| ③ 業務指示遂行                | ⑦ 服務規律   |
| ④ セーフティエコドライブ(SR85点以上*) | ⑧ 5S車両美化 |
- \*得点の上がり幅や車両によって考慮

総合S～Dの5段階評価で1段階につき1万円差がです

# 5 管理者の指導方法 および 気付き ～シンプルに長続きできることを基本に

SRの点数診断は、『プロに対する安全運行』を計っているツールとして信頼できる機器であることを日々の指導や会話からドライバーに伝えました。ドライバーに納得してもらうために次のような工夫をしています。

- ① 基本的に日々の診断点数で指導実施。  
※ 詳細なデータを使用する指導はドライバーに伝わりにくい。
- ② 掲示資料への管理者コメント内容、掲示タイミング等に気を配っている。
- ③ 日々の得点集計は、管理者が手入力することで個人の取り組み内容を理解する。  
※ PC操作による一括集計では中身が見えず、管理者の思い入れ度も変わってしまう。
- ④ 安全運行取り組みに対し、管理・監督者が情熱をもつ。
- ⑤ 運転診断結果の内容・推移状況により、ドライバーの精神状態や性格まで把握できる。

### “納得”を導く具体的な指導例

■ ハンドルは、回すだけでなく戻すときも、ゆっくりしなければいけないという指導の場合

ドライバー：「そのどことが安全運転なのか、意味がないよ!」

指導者：「ハンドルを急いで戻すということは、スピードが出すぎているということだよ」

ドライバー：「なるほど! 右折時にスピードが出ていることが安全といえないですね」

「すべてのことが安全運転に関係してることですね」

# 6 まとめ

SR活動により、ドライバー全員の運転が驚くほど安全運転になりました(スピード・ブレーキタイミング、右左折・車間距離・安全確認等)。活動を通じて、ドライバー同志、上司・部下との会話が増えて意思疎通がはかれるようになり、コミュニケーションアップ、明るい職場(職場風土改善)づくりでも役立っています。

安全運転を意識することから個人のやりがいや、コスト・環境への貢献度を知り、業務意欲向上にもつながったことが大きな成果です。今後も『人と地球に優しい運転』を事業部方針として活動していきます。

# 株式会社 ハーツ

代表取締役 **山口 裕詮** 様



- SR導入後、事故ゼロ件維持中!**  
(2006年~2009年6月現在) **効果**
- 燃費向上で約100万円のコスト削減に成功!**  
2008年 燃費**19.2%アップ!**(対2006年比)
- 2008年 8月グリーン経営認証の取得**  
**12月安全性優良認定事業所 (Gマーク) 取得**  
**2008年度の車両保険割引率が70%に!**

## 株式会社 ハーツ

会社概要

本社所在地: 東京都品川区南大井5-12-3  
 営業拠点: 関東地区13拠点、中部地区3拠点(関連会社)、  
 関西1拠点(関連会社)  
 代表者: 代表取締役 山口 裕詮  
 事業内容: 運転手付レンタルトラック「レントラ便」、  
 廃棄処分「エコ・ユウセン」、定期的運送「The定期便」、他  
 車両台数: 14両(軽自動車、1t車(ワゴンタイプ)、2t・4t車各種など)  
 S R 導 入: SRcomm 8台(2006年4月 5台、11月 3台)

### ■ 自社ブランドのためにSRを活用

脱・下請けを掲げて、オリジナルサービス「レントラ便」を展開。お客様と直接取引をするためには、自社ブランドを作りあげることなく成り立ちません。①環境問題への取り組み ②安全品質への取り組み ③コンプライアンスの遵守 ④輸送品質の向上を目標にし、根本的な会社変革に着手。その中でエコドライブ支援機器の導入を計画し、SRを採用しました。

### ■ SR点数アップのための心がけ

今では、ドライバーが、SRは事故を防ぐために、自分の運転を見つめなおすチャンスを与えてくれたいい機械と認めています。点数アップのために必要とされるのは、**ドライバー自身が気付き、意識を変えること**。また、日常運転で遭遇する環境に惑わされない安全運転への強い意志を持つことが必要です。

### ■ ドライバー不満解決に向けて

導入当初は、社長自らが各ドライバーの毎日の運転診断結果を見ながら直接ドライバーと対話。ドライバーの不満については、会社全体で知恵を絞って、時間をかけて解決の方法を探りました。

#### 【ドライバーの意見】

1. アイドリング時間がわかって嫌だ  
①待機時間等にエアコンを使いたい  
②休憩が取れなくなるのではと不安

2. (点数が上がらないので) なんと面倒な機械だ

#### 【スタッフの意見】

1. アイドリングはCO<sub>2</sub>削減のために減らさなければならない  
①お客様と信頼関係を築き、車内待機時間を減らす工夫はできないか  
②ムダな休憩は無くし、必要な休憩はとる。きちんと報告すれば良い

2. SRは「安全運転」を点数化する機械と理解することが必要(時間をかけた対話が必要)

# 佐賀大学大学院 医学系研究科

教授 博士(医学) **堀川 悦夫** 様



日常運転を連続的にデータとして取得し、運転行動を数値化できるSRの特性を生かして、ある運送会社のプロドライバーの運転について分析を実施した。対象者は、表彰経歴のある運転手28名とない運転手69名。前者を優良群、後者を通常群とする。

※SRNEWS vol.48にもご紹介しています。詳細について、あわせてご参照ください。

### 分析結果

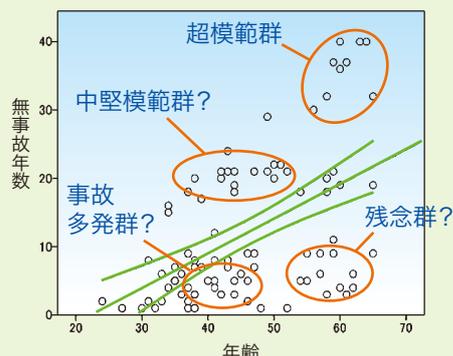
1. SR装着後から各項目とも平均点を上回り、プロのドライバーとして運転技能の高さが見られる。
2. 平均速度については、優良群は減少しているが、通常群では変化が見られなかった。
3. 5項目(ブレーキ、停止、ハンドル、右左折、スムーズ)の点数は、期間中、両群ともに上昇している。特に差が見られたのは、**ハンドルとスムーズ**得点であった。
4. 両群ともに最も差がみられたのは、スムーズ得点であり、運転の良否の指標となるであろう。
5. 各項目(ブレーキ、停止、ハンドル、右左折、スムーズ)と合計点数の6指標について、SR装着直後から30ヶ月にかけて**優良群、通常群ともに点数が上昇し、運転行動がよりよい方向へ向上した**といえる。

### ■ 年齢と無事故年数の関係分析

ドライバーの年齢と無事故年数の関係をグラフ化してみると右のようになりました。年齢が高まるほどに無事故年数が高まる群(グラフの上方位置)と、無事故年数が伸びない(下方位置)2群に分かれる傾向が見受けられます。さらに、40歳前後と60歳前後で上記2群を分析すると、次のように分類することができます。40歳前後ですでに無事故年数を伸ばしているドライバーは、「中堅模範群」、60歳前後で無事故年数が長いドライバーは、「超模範群」とそれぞれ言えるでしょう。一方40歳前後で無事故年数が少ない群は「事故多発群」かもしれません。グラフの傾向からみると、中堅模範群がそのままの安全運転を維持し続けていけば、将来、超模範群を形成すると考えられます。残念群は、事故多発群となる可能性もありますが、模範群へと無事故年数を伸ばしている中、1回の「事故※」により、残念群に分類されているという結果かもしれません。

※この場合の「事故」の定義: 自損、第一当事者か否かによらず、1円でも損害が発生した場合とする

年齢と無事故年数の関係



# データ・テック実験報告(その5) in 交流会

## トラックの燃費改善効果の検証

信号待ちや渋滞中の  
アイドリングストップによる『燃費改善効果』がどれくらいあるのか

(株)データ・テック技術部 評価グループ

東京都大田区蒲田から国道1号線、15号線をコースとして、トラックのアイドリングストップによる燃費消費量に与える効果について検証実験を行いました。

### 【目的】

●エンジンキーon-offによるアイドリングストップを行い、『燃費改善効果』がどれくらいあるのかを検証する。

### 【条件】

●計測対象車両：  
いすゞ エルフ (平ボディ)  
●データ計測装置：SRVideo  
CAN※インターフェースユニット  
※車載機器間の通信で、車速、エンジン回転数、故障診断の情報などの転送に使われている。今回の燃費情報は、CANから取得。

### 【計測方法】

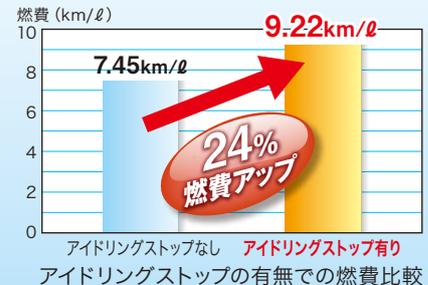
●走行条件：積荷無し、エアコンOFFの状態  
●測定 ①アイドリングストップあり  
②アイドリングストップ無し

### 【結果】

	アイドリングストップ	
	無し(やや混雑)	有り
走行時間	1時間04分43秒	50分27秒
走行距離	18.1km	18.0km
アイドリング時間	1,717 秒	216 秒
アイドリングストップ時間	0 秒	888 秒
アイドリングストップ回数	0 回	24 回
燃費消費量	2.423ℓ	1.948ℓ
燃費	7.45km/ℓ	9.22km/ℓ

### 【まとめ】

- ①アイドリングストップにより、24%の燃費改善効果が見られた。
- ②積極的なアイドリングストップの実施は大幅な燃費の改善が期待出来る。



## 株式会社 データ・テック イベント紹介

～事故のない社会を実現するためにどうしたらよいか～

# 第10回SRお客様交流会を開催します

今回のテーマ：自社の「SR運用マニュアル」の紹介

事故のない社会を実現するために、SRを通じて交流していただくことを目的に開催しております。今回は自社「SR運用マニュアル」の紹介をテーマに企画しております。是非ご出席の上、経験交流・意見交換の場としてご活用ください。

日時 2010年 2月5日(金) 受付開始12:20  
場所 13:00～18:00

大田区産業プラザPiO  
4Fコンベンションホール  
京急蒲田駅降りてすぐ(東京都大田区)

参加無料  
※事前登録制

### 交流会 内容(予定)

#### 1 導入企業様による「SR運用マニュアル」公開!

##### ご講演

SR導入効果をあげている企業様に、運用マニュアルをご公開いただきます。  
① 悩みやトラブルをどう解決していったのか  
② どんなツールを使っているか等、現場の具体的な取り組みをご紹介する予定です

#### 2 自社マニュアルを元に参加者同士で意見交流!

##### 分科会

ご出席者を数グループに分け、自社の“SR運用マニュアル”の紹介をもとに意見交流を行います。運用に関するお悩み相談やご質問も気軽にできる少人数制です。

#### 事故削減やCO<sub>2</sub>削減に役立つツールの展示を行います

その他 事故削減やCO<sub>2</sub>削減に役立つ展示企画等を予定しております!  
(出展予定：SR最新情報/アルコールチェッカー/タイヤ空気圧チェッカー/エアヒーター/蓄熱マット 等)



第9回交流会ご講演の様子



第9回意見交流の様子



第9回交流会  
展示コーナーの様子

※時間・内容等を都合により変更する場合がございます

## 株式会社 データ・テック

〒144-0052 東京都大田区蒲田4-42-12  
TEL.03-5703-7060 FAX.03-5703-7063  
http://www.datatec.co.jp